

いたばし good balance 会社賞 2017

表彰企業紹介

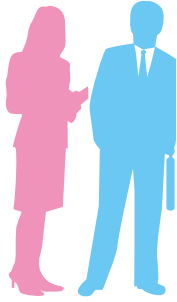
板橋区では、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現に向けて、仕事と生活の両立支援や男女がともに働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組む中小企業等を、いたばし good balance 会社賞として表彰しています。

平成29年度は、ワーク・ライフ・バランスの推進に積極的に取り組む企業・事業所2社が受賞されました。このリーフレットでは、表彰企業とその取組を紹介します。



板橋区役所 総務部 男女社会参画課 男女平等推進係
〒173-0014 板橋区大山東町 32 番 15 号
板橋区保健所 1 階
電話 03-3579-2486 FAX 03-3579-2345
メール j-danjo@city.itabashi.tokyo.jp





巣鴨信用金庫 板橋栄町支店



代表者名 支店長 渡辺 靖仁

創業年月 昭和 56 年 11 月

所在地 栄町 19 番 3 号

電話番号 03-3961- 5111

業種・事業 金融業 信用金庫

総従業員数 18 人（男性 11 人、女性 7 人

※パート含む 【平成 29 年 11 月現在】



ロゴマークの意味

ロゴマークの 2 色の色は、Work (仕事)、Life (生活) を表しています。

このマークには角がないため、左にも右にも自由に傾きます。これは、一人ひとりのライフステージに応じて、仕事 60%・生活 40% のときや、仕事 30%・生活 70% のときがあってもよく、仕事 50%・生活 50% だけが、ワーク・ライフ・バランスではないということを表しています。中心の笑顔は、「社員が笑顔で明るく働ける会社」を表しています。

取組内容（一部）

- 職員一人ひとりが多能化を図り、少人数でも業務を行うことができる体制を構築しています。相互に効率よく業務を行うことが可能となり、毎月、有給休暇（1日）の取得を奨励しています。
- 年に 1 回、有給休暇 5 日間の連続取得は、職員・スタッフ全員が行っています。
- 年に複数回、支店長面接を行っています（全員対象）。これにより、職員の状況を把握し、仕事と育児・介護などの両立ができる職場となるよう環境整備に努めています。
- 業務項目を細分化したスキルチェック表により、各人の習得した業務を把握しています。また、ジョブローテーションと OJT を繰り返し行うことで業務範囲を広げています。

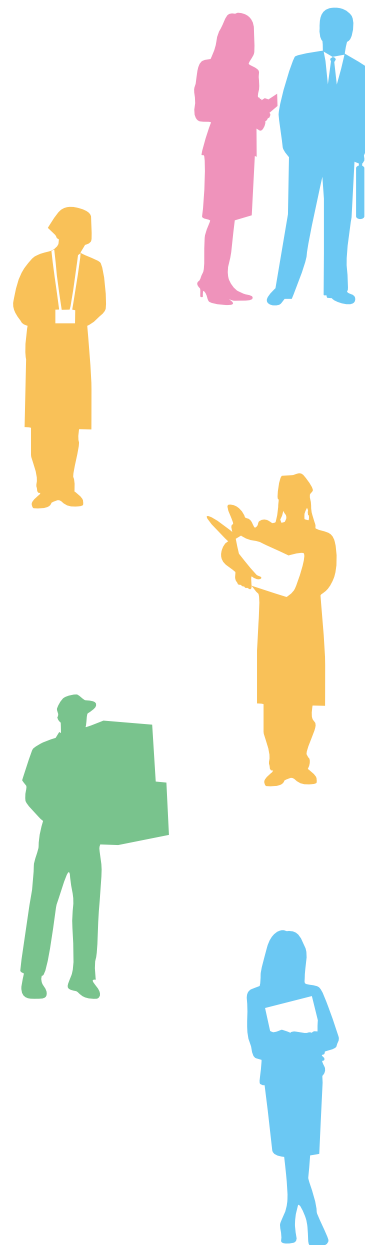
学校法人石川キンダー学園 城山幼稚園・城山みどり幼稚園



代表者名 園長 石川 明彦
創業年月 昭和 24 年 4 月
所在地 志村二丁目 16 番 2 号
電話番号 03-3966-5262
業種・事業 私立幼稚園
総従業員数 35 人（男性 4 人、女性 31 人）
※パート含む 【平成 29 年 11 月現在】

取組内容（一部）

- 放課後のスケジュールを、スケジューラーと呼ばれる担当職員が組んでいます。全体でやるべき業務を集約しておき、翌週 1 週間分のスケジュールを LINE グループで共有しています。行事等で、仕事を多くかかえている職員がいれば、その仕事をシェアすることで、時間内に業務を終えることができます。
- 複数人で行う作業・会議等では、タイマーで時間設定をしています。進行役は時間内に作業を終えられるよう、準備して臨みます。
- 東京都倫理法人会主催の朝礼コンテスト最優秀企業として、年間 100 社以上の企業から、職員朝礼の見学を受け入れています。
- 年に 1 回、職員全員の投票で決める表彰制度を設けており、職員のモチベーションアップを図っています。



——いたばし good balance 会社賞——

◆応募要件

- 板橋区に本社または主たる事業所があること
- 常時雇用する労働者が300人以下であること
- 労働関係法令等を遵守していること
- 事業の業態が公序良俗に反していないこと



◆評価の対象となる取組

- 長時間労働削減に向けた取組
- 年次有給休暇の取得促進に向けた取組
- 仕事と育児、介護の両立支援に向けた取組
- 男女がともに働きやすい職場づくりに向けた取組
- 地域活動への貢献に向けた取組
- その他のワーク・ライフ・バランスに関する取組

◆表彰企業のメリット

- 広報いたばし、板橋区ホームページ、情報誌等により、表彰企業と取組事例をPR
- 審査結果(評価)をフィードバック
- 板橋区産業融資の利子補給割合が加算
- 板橋区ホームページのバナー広告を無料掲載

◆表彰企業紹介のホームページ

http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_kurashi/054/054365.html



——歴代受賞企業からの声——

◆受賞したことでの良い影響は？

- 採用時の応募が増えたり、離職率が減ったりした。
- 自分の企業に対して従業員が、より一層誇りを持てるようになった。
- 社外からの評価・反響が大きくアピールの場が増えている。商談の際の話題にもなった。
- 加盟団体の機関紙で大きく紹介された。会社への取材が増えた。
- ワーク・ライフ・バランスの推進を図ることで、社員各々の成長のチャンスとなった。

◆企業がワーク・ライフ・バランスを推進していくうえでの課題(ハードル)は？

- 経営者の姿勢
- 経営状況や経済的な問題
- 職員の意識改革、職場の理解